

## 地域密着型金融の取組事例について

タイトル 「ふれあい農園」で農と地域に密着

J A 名 J A 兵庫西 (兵庫県)

1 動機 (経緯)	J A 職員が野菜栽培等の実践に励むことで、農業の苦勞を体感し、自らの営農スキルを高めることと地域の人々とのふれあいの場として農園を活用するため、全支店で「ふれあい農園」を設置しました。
2 概要	<p>平成 24 年 4 月から、全 62 支店の店舗の近くに「ふれあい農園」を設置し、サツマイモやトウモロコシ、トマト、キュウリ、ナス等の季節野菜を植え、窓口職員をはじめ支店の職員が業務終了後などに協力しながら農園を管理しています。</p> <p>地元農家からアドバイスをいただいたり、管理面での援助があり、来店される非農家のお客様には、収穫した野菜を配布するなど、地域との絆を深めています。</p> <p>さらに、地域の子どもたちが野菜の定植や収穫に参加することもあり、食農活動の実践の場として利用しています。</p>
3 成果 (効果)	<p>平成 24 年度には、ふれあい農園で園児や小学生を招いての体験学習が J A 全体で 70 回開催され、保護者も含めて延べ 9, 265 人が参加しました。</p> <p>J A 職員でありながら、農業体験をしたことのない職員が、農業の苦勞・大変さを実感することにより、組合員との会話の中で、農業に対する考え・意見を共感できるような変化が生じています。また、栽培上での失敗を体験することによって、栽培意欲の向上が見られ、P D C A サイクルが実感できる例になっています。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>地域で最も愛着があり、頼りにされる金融機関を目指す為の一環として、ふれあい農園の地域住民への活用状況に対して、評価制度を設け優秀な支店に対して表彰を行ないます。</p> <p>また、営農スキルの向上に伴い、同一品目を栽培し、J A 内で農産物コンテストも計画しています。</p>